

# よっ葉だより

2023年  
9月4日号  
No.758

◆新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金◆



栃木県 860  
茨城県 862



## 生協はいつの時代も組合員がつくっています

栃木県生協連合会・よっ葉生協共催役職員学習会

「日本の生協運動の歩み」講師 斎藤嘉璋氏

1936年新潟県生まれ。早稲田大学時代から生協に関わり、60年日本生協連入協。69年以降、早大生協、戸山ハイツ生協、東京都民生協、東京都生協連等で役員を歴任。

\*日本の生協の歴史を理解し、生協の持つ意味や視点を学ぶために栃木県内の生協役職員向けに開催しました。



### 1900年代～第二次世界大戦まで

産業革命後のイギリスで生まれた近代の協同組合は、労働者が自分たちの権利と自由を守る「助け合い」の組織として日本にも広まりました。日本では明治時代（1879年）。協立商社など（東京）、大阪共立商店、神戸商議社協立商店で、同志社など大学生協もこの頃設立です。日本で一番歴史の長い足尾銅山の三養会（栃木県、2016年解散）も1906年に誕生しました。

大正期は資本主義経済発展で生協が増えたものの、日清・日露戦争時は治安警察法のもと解散させられました。昭和初期は労働や普通選挙権や婦人参政権を求める運動が高まり、家庭購買組合（東京；吉野作造）や共益社（大阪；賀川豊彦）、神戸消費組合、灘購買組合（賀川豊彦）などの生協も設立されました（現コープこうべ等）。日中戦争は太平洋戦争、第2次世界大戦へと拡大し、思想統制や締め付け、物資食糧不足、戦火や空襲、疎開で暮らしは困難になり、生協組織も壊滅的になりました。

### 戦後の再生期～朝鮮戦争時

敗戦で国民はくらしの建て直しが急務でした。社会運動が活発化し「雨後のたけのこ」のように新しく生協が生まれたものの、インフレ対策で多くが解散しました。戦前の生協は、施設や人員の大半を失いながらも協同組合を確立させるべく、全国組織の結成、生協法制定に向けて努力が続きしました。労働金庫や労働者共済、勤労者生協、学校生協はこの頃に多く生まれています。賀川豊彦らの努力で1948年消費生活協同組合法が制定、1951年日本生活協同組合連合会（日生協）を設立、発足時は朝鮮戦争前後であり、当時のスローガン「平和とよりよい生活のために」は現在も日生協に受け継がれています。

### 高度経済成長期～80年代

急速な人口増で、住宅難や保育、教育問題など消費者問題が増えました。大気や水汚染公害で身近な食べ物に安全性を求める市民が牛乳の共同購入を始め、生協の組織化につながりました（よっ葉生協もそのひとつ）。新しい市民生協は、主婦層が社会参加の

場として活動の担い手になり、産直運動や予約注文、班の共同購入、店舗化などが進みました。組合員の「出資・利用・運営」は反核、平和、環境、福祉、ユニセフ、助け合いなど多面的に発展し、県内合併での拠点生協づくり、生協間連帯も進みました。

### 1900年代の転換期の困難

過去最高の絶頂期を迎えた日本の協同組合は国際的にも注目を浴び、92年に生協の国際大会（ICA第30回大会）が東京で開かれ「協同組合の価値」を提起したものの、運営では個人宅配が増え共同購入が下降し、店舗の経営悪化や経営不祥事などが続きました。95年阪神淡路大震災では「被災地に生協あり」と現地生協と全国生協の協働で食料、医療を提供し、助け合い精神で被災地を励ましました。

### 2000年代～コロナ前まで

全世界的な不景気は日本にも及びました。07年コープ手作り餃子中毒事故は生協への信頼を損なうもので、品質保証の仕組みや経営立て直し、体質改善が求められました。食の安全を求める運動は更に活発になり、個配の広がりもあって組合員数が拡大しました。07年の59年ぶりの生協法改正では時代に合わせた法整備し、地域を越えた合併が可能になりました。2011年東日本大震災では、多くの生協が被災地に駆けつけ、募金活動にも取り組み、3.11以降も自然災害へ支援の輪が続いています。

生協の活動は組合員の暮らし＝食べもの、農業、環境、平和など多方面です。組合員の継続的な利用と、地域に根付き、自治体や地域の団体と連携があつてこそ、生協の理念が具現化されます。何より一番大切なのはいのちを脅かされない「平和」があること。ひとりの人間で出来ることは限られますが、志をともにする仲間、つながりが多く太くなれば、地域を動かし国を動かします。時代や戦争、政治に翻弄されながらも積み上げてきた生協の歴史は「少しでも世の中が良くなるように」と先人たちが必死で重ねた努力の結果であり、それは今でも変わりません。（理事長 三輪）



「1947年生協法制定要求決起集会大会で演説する賀川豊彦氏」



「1948年生協法施行当時の厚生省ポスター」



## 産直委員会発 (5月30日) 宇都宮市の若竹の杜 若山農場を見学してきました!

若山農場は春には筍、秋には栗を出荷してくださっています。当日は、雨あがりの蒸し暑い日でしたが、竹林に一步入ると空気が一変、爽やかな風とサラサラした笹鳴りの音、ふかふかとした足元の清々しい世界でした。案内してくださったのは株式会社ワカヤマファーム代表取締役若山太郎氏。江戸時代初期の開拓の苦勞、そして二代前の御当主が竹と栗の栽培に切り替え、春の筍、秋の栗、冬の竹材を柱とする基礎を築かれたそうです。

当代の若山太郎氏は栽培だけでなく、竹細工をはじめとした竹を使った様々な器やアクセサリ、文房具などの加工や、それらと地元の様々な生産者さんからの委託販売も手がけています。



竹の子が収穫される竹林

さらに植栽としての竹。都市空間にこそ竹は似合う、と近年出荷依頼も多いそうです。また手入れのされた美しい竹林を観光資源とし、今では観光も経営の柱になっているそうです。これから農業を始めたい、という若者たちのひとつの目指すものでありたい、と語る若山さんの横顔は未来をしっかり見据えていました。

今年の若山さんの栗のご案内  
から「9月4週」と「10月4週」お見逃しなく!!

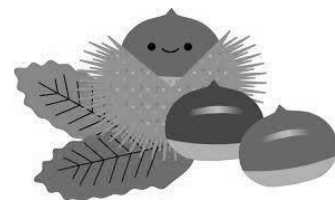
6年経つと竹は卒業になり切られますが、オブジェになったり、器になったり、有効に素敵に再生されています♪



実はイネ科の仲間という竹。3ヶ月で育ち切り、10年間その姿を変えないそうです。若山農場では6年で切出すサイクルだそうです。今年には稀に見る筍の不作で、なかなか調整が大変とのことでした。

併設の竹のギャラリーも見学しました。観光で来てくれたひとりでも多くのひとに竹を知って欲しい、竹を好きになってほしい、その想いがとても伝わってきました。

若山農場の栗林は栗の木がとても大きいのが特長でした。農薬をかけないから、低く造る必要が無いそうです。ただし、虫との戦いは本当に大変。薬を使わないため、出荷後常温で放置してしまうとどうしても虫がついてしまう。そのため直接の対面販売か、きちんと温度管理して届けてくれる生協のみに卸していますとのこと。ウチの栗は小さいですよ、と笑う若山さん。大きくするために肥料を入れるのは簡単、でもそうすると土の良さが無くなる。足るを知る農業を守り続ける姿がありました。



よつ葉生協で秋にこの栗を届けてもらえることはとても幸運だと改めて感じました。  
(産直委員会 齋藤清美)

### 報告◇「希望の給食」DVD鑑賞会 ◇7月5日(水)上三川・いきいきプラザ

7月5日 上三川いきいきプラザにてDVD鑑賞会が行われました。「希望の給食」の上映です。千葉県いすみ市、長野県松川町、東京都武蔵野市、それぞれの取り組みが紹介され、参加者の方々がメモを取ったり、大きく頷いたりしていました。鑑賞後、テーブルを輪になるように動かして自己紹介などをしました。「有機給食にしたいので会を立ち上げた。たくさん学習したいと思って参加した。有機給食にするにはどうしたらよいか? ヒントがほしくて参加した。」など、子供たちの給食を変えたいとの思いが伝わってきました。

真岡市で活動している「元気な未来へつなぐ会もおか」の代表の方々の参加があり、会の活動を話してくれました。「元気な未来へつなぐ会もおか」は、5年前に本間真二郎先生の講演をきっかけに立ち上がり、議員・有機農家・保護者で署名活動をし、農政課主催の有機農業セミナーを開催してもらうことができたそうです。

終了時間が近づいても、なかなか参加者の話し合いは終わりませんでした。委員会内で一度みたいと言っていたDVD鑑賞が、これほどの反響があることに委員一同驚きました。

参加した皆様、ありがとうございました。(真岡委員会 黒川 令)



#### <参加者の感想>

☆自然環境を守り、子ども達の健康を守る有機野菜はやるべきだと改めて思った映画でした。そして、なぜ有機野菜が良いのか。生産者や消費者の意識を有機に向けて知識を深めていき、知るきっかけを作る、このようなDVD鑑賞会などを学校でも取り入れられたらと思います。

☆給食に悩む保護者の方々の声がきけて良かったです。1人では変えられないので、少しずつ活動が広がり、給食が変わっていくといいと思っています!

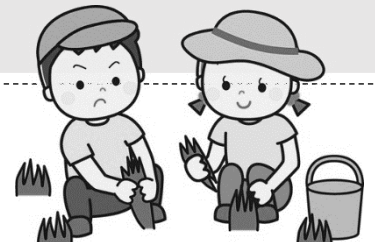
☆同じ気持ちのママさんが集まって感動でした。周りのママさんは、食の安全に無関心の方ばかりで、どのようにオーガニック給食をすすめていけば良いのか考えも及ばないので、少し勇気をだして、市に問い合わせたり、ママさんたちに声をかけたりできるような気がしてきた会でした。





参加してみませんか

地産地消～守ろうふるさと のこそう緑の大地～  
秋山さん農業体験②「間引き・草取りをしよう！」



秋山さんの畑での今年2回目の農業体験です。  
9月23日(土)に種まきをした畑で、秋山さんと間引き・草取りをしましょう！  
日時：10月7日(土) 10:00～13:30 (受付9:45～)  
会場：グリーン研・秋山さんの畑(栃木県下野市町田900)

参加費：組合員 大人(中学生以上)200円 小学生以下無料  
一般 大人(中学生以上)300円 小学生以下無料  
定員：10家族程度 託児：なし  
締切日：9月22日(金)  
主催：よつ葉生協  
申込・問合せ：よつ葉生協 組合員組織部 TEL 0120-07-1613

よつ葉文庫



新刊登録 NO. 1304  
『日本の生協運動の歩み』  
齋藤嘉璋監修、日本生活協同組合連合会発行

今回のよつ葉だより表紙でご報告した学習会の講師の齋藤先生が監修されています。  
現在の生協のかたち作られるまでの140年にわたる運動の歴史がまとめられています。組合員と役職員が一緒になって取り組んできた歴史は、決して平坦なものではありませんでした。(理事長 三輪)

<よつ葉文庫>組合員さんの感想

No. 1293 堤未果著

『ルポ 食が壊れる 私たちは何を食べさせられるのか?』  
本の中の堤さんの言葉は私が忘れていたことが沢山書かれていました。“水田と云う生命体は日本人の精神の礎。生きとし生けるもの全てには魂が宿り、山や森にも、川や湖にも神様がいらっしゃると思っていること。コウノトリも赤トンボも、おたまじゃくしもメダカもカエルも田んぼがなければ生きられないなんて、今どれだけの人が知っているだろう?”  
他にも生きていくのに大切なことを教えてもらいました。よつ葉生協さんの精神と同じですね。(H・Bさん)



よつ葉文庫のご案内 貸出期間は2週間、新刊登録の本は、当分の間1週間となります。

「よつ葉文庫」は組合員のための図書室です。借りたい本は、注文書のご意見ご要望欄に本のナンバー・題名・貸し出し希望を記入して、配送員にお渡しください。翌週、配送と一緒に本をお届けするのが基本ですが、貸し出し希望が多い本の場合お待ちいただくこともありますので、ご了解ください。

4年ぶりのよつ葉マルシェ、総勢70を超えるお店が集います

～日々の暮らしを丁寧に～

あなたの好きを見つけに来てください

入場  
無料

第6回  
よつ葉マルシェ in 太田

9月30日(土) 10:00～15:00

場所：冠稲荷神社・宮の森迎賓館

ティアラグリーンパレス2階

(群馬県太田市細谷町1)

主催 よつ葉生活協同組合 TEL 0120-07-1613

Foods

農業不使用の野菜、地元で人気のお弁当、パン、おむすび、お菓子、ドリンク

ハンドメイド

アクセサリー、布・革小物、木工品、無添加石けん、うつわ、ドライフラワー、染め物、雑貨等

ワークショップ

ドライフラワー、ヨモギパック、グラスサンドアート、精麻、勾玉等  
リラクゼーション・占い

アロマトリートメント、もみほぐし、リンパ整体、脳洗浄、ヒーリング、星詠み、カードセッション等

よつ葉生協取り扱いメーカー

「くらら」でおなじみのメーカーさん  
各社による試食・販売

素敵な景品が当たる  
空くじなしの抽選会もあります♪





# 文化イベント情報

■各イベントのお問い合わせは、直接主催者または連絡先をお願いいたします。

## 小山

- イベント 第10回 オーガニック講座  
「食料・農業危機と打開策」  
～食と農を守る～  
講師:鈴木宣弘氏 東京大学大学院農学生命科学研究科教授  
10月8日(日) 13:30~15:00 (開場 13:00)
- 日時
- 会場 小山市役所 6階大会議室
- 参加費 無料 \*お子様連れ大歓迎です。
- 定員 100名 \*先着順
- 講師コメント 農村は国の本、食料こそ国防の第一線です。しかし、日本の食料自給率は低く、廃業の危機にある農家もいます。なぜ日本は危機に瀕しているのか? オーガニック給食は救いとなるのか? 私たち消費者ができることは何なのか? 日本の食糧安全保障問題の第一人者が、食と農と命を守る打開策をお伝えします。
- 共催 小山市有機農業推進協議会・小山っ子の未来を守る会
- 申込み TEL 0285-22-9269 小山市役所農政課  
メール d-nosei@city.oyama.tochigi.jp

## オンライン

- イベント 未来の食卓はどうなるの?  
ゲノム編集魚を考える市民集会 in 京都
- 日時 9月23日(土・祝) 13:00~16:00
- 会場 オンライン+ひと・まち交流館 京都
- 参加費 500円
- 定員 オンライン500名 会場300名
- 内容 第1部 基調講演 安田節子  
「ゲノム編集食品は未来の食卓をどう変えるのか」  
第2部 トークセッション  
「ゲノム編集魚の何が問題か」  
天笠啓祐 河田昌東  
第3部 パネルディスカッション  
「ふるさと納税返礼品にゲノム編集トラフグ」  
印鑰智哉 松平尚也 NOCO  
質疑応答  
漁業者からのアピール
- 主催 ゲノム編集魚を考える市民集会 in 京都実行委員会
- 申込み・公式サイト  
<https://yoccola.wixsite.com/no-genomeeditingfish>
- 申込み〆切 9月19日(火)
- 問合せ 日本消費者連盟  
TEL 03-5155-4765 (月/水/金のみ)  
FAX 03-5155-4767  
メール gefish\_kyoto@nishoren.org

## 共通申込書

希望する行事名に  してください  
 秋山さん農業体験②

組合員番号	氏名				
住所					
連絡のつきやすい電話番号☎					
参加人数 (大人) 組合員	人	※同居の家族は組合員に含みます			
(大人) 組合員以外	人				
(小・中学生)	人	歳	歳	歳	
(未就学児)	人	歳	歳	歳	
参加者のアレルギー	無・有 ( )				
託児: 6カ月以上のお子様から	人	歳	歳	歳	歳
お子さんのアレルギー	無・有 ( )				

備考欄

## 那須塩原 矢板

- タイトル 甲状腺エコー検査  
東日本大震災による福島第1原発事故から12年が経過しました。10月に県北2会場で甲状腺エコー検査を開催します。この機会にぜひお申し込みください。
- 那須塩原会場 10月21日(土)  
12:00~16:00  
会場 アジア学院 コイノニアハウス  
(那須塩原市槻沢 442-1)  
定員 40名  
検診実費 お一人につき500円  
申込 <https://bit.ly/3pulkZg>  
問合せ TEL 080-3206-9178  
那須塩原 放射能から子どもを守る会(手塚)
- 矢板会場 10月22日(日)  
10:00~15:00  
会場 城の湯 ふれあい館(矢板市幸岡 18)  
定員 50名  
検診実費 お一人につき1000円  
申込 <https://bit.ly/42LlseN>  
問合せ TEL 080-6544-2427  
子供の未来を考える会ハチドリ(井田)
- 対象 各市および周辺にお住まいの方、震災当時18歳以下の方優先 ※高校生以下は保護者付き添い。
- 締切 定員になり次第締め切らせていただきます。
- 主催 関東子ども健康調査支援基金  
<https://kantokodomo.info>  
基金HPからチラシをダウンロードできます。
- 申込 オンライン申込み  
メール・FAXをご希望の方はお問い合わせください。  
※ご来場の際はマスクの着用、検温、消毒等ご協力をお願いします。感染拡大で中止になる場合は、申込された方に個別にお知らせします。



## 新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金報告(8月4週分)

ご協力ありがとうございます。  
組合員さんの助けあいの気持ち広がっています (単位:円)

栃木コロナ支えあい基金 (860番)	2,800
茨城誰かのために募金 (862番)	500
合計	3,300

共同購入注文書の該当番号に数量をご記入ください。  
WEB注文の場合は、左側「企画商品・募金」内の「募金関連」をクリック。  
一口100円の募金になります。

## 東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告(8月4週分)

ご協力ありがとうございます。  
組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています (単位:円)

放射能から子どもを守る募金 (900番)	8,300
震災孤児を支援する募金 (910番)	18,200
「有機農業と国産種子」募金 (920番)	9,200
合計	35,700

共同購入注文書裏の「10品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。  
WEB注文の場合は、左側「企画商品・募金」内の「募金関連」をクリック。  
一口100円の募金になります。

## ●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮 1223

☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101

HP <https://yotsubacoop.jp/>

よつ葉だよりメールアドレス [yotsubadayori@yotsuba-coop.jp](mailto:yotsubadayori@yotsuba-coop.jp)



ホームページ



Facebook



Instagram